

第37回 ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成22年3月28－30日

茨城大学 水戸キャンパス(日本原子力学会 2010年春の年会 展示会場)

2. 来訪者:41名

3. 説明概要:

日本原子力学会 2010年春の年会(於 茨城大学 水戸キャンパス)の展示エリアにおいて、来訪者に資料を配付し、ITER機構職員募集及び登録の案内を行った。(ITER協力調整グループ)

4. 主なQ&A

Q1:ITER建設予定地のカダラッシュはフランスのどのあたりですか？

A1:カダラッシュは、南仏 プロバンス地方にあります。最寄りの国際空港はマルセイユ空港です。マルセイユ空港からカダラッシュまでは70 kmほどあり、車で約1時間かかります。

Q2:現在、ITER機構で働いている日本人は何人ですか？

A2:ITER機構の日本人職員は3月末現在で、専門職員が23人、支援職員が6人です。

Q3:ITER機構の仕事には、フランス語が必要ですか？

A3:ITER機構における公用語は英語ですので、フランス語は必須ではありません。職種によっては、フランス政府当局や地元との折衝が必要となり、フランス語が必要となる場合もあります。この場合は、募集ポジションのJob Descriptionにその旨が要件として記載されます。

Q4:どのような職務経験が求められるのですか？

A4:職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されていますので、それぞれ要求される条件を満足する必要があります。一般的に、募集されているポジションと同じ分野等での経験が求められます。ご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的にご応募ください。これまでに募集されたすべてのポスト及びその職務内容を下記の URL に掲載していますので参考にして下さい。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/koubo/koubo_boshulist_past.html



日本原子力学会 (茨城大学 水戸キャンパス)における展示エリアの様子